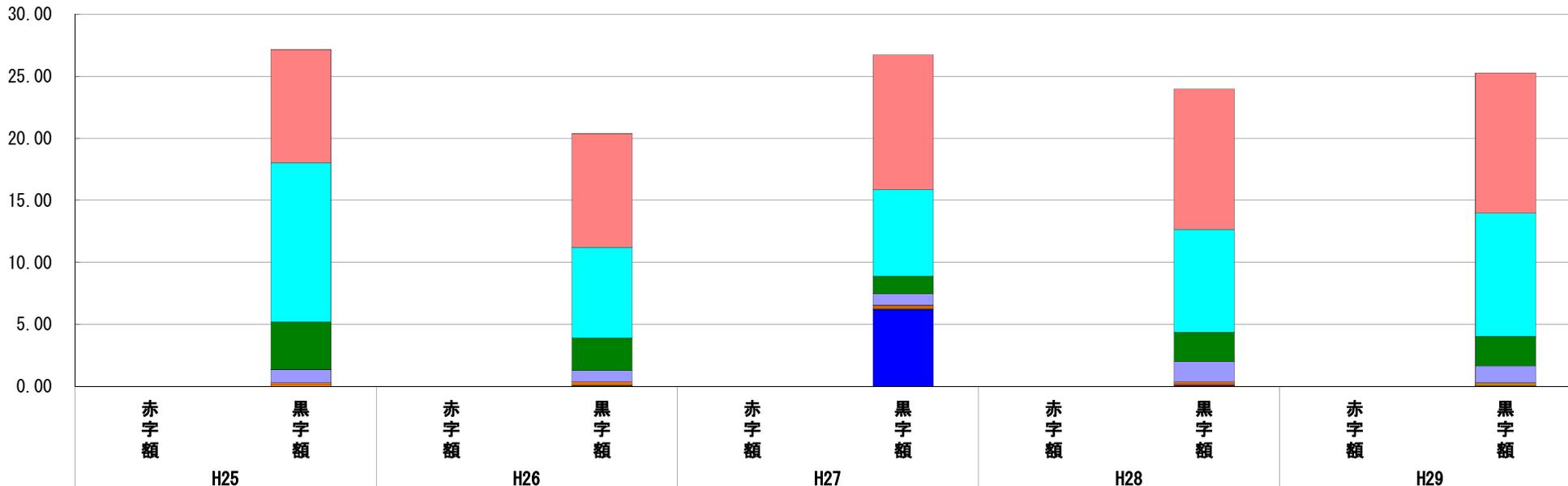


(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成29年度

宮城県大郷町

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H25	H26	H27	H28	H29
水道事業会計		9.12	9.16	10.86	11.31	11.31
一般会計		12.83	7.29	6.97	8.29	9.91
国民健康保険特別会計		3.85	2.65	1.43	2.38	2.38
介護保険特別会計		1.06	0.90	0.92	1.60	1.35
下水道事業特別会計		0.21	0.24	0.23	0.17	0.12
農業集落排水事業特別会計		0.07	0.07	0.06	0.07	0.11
戸別合併処理浄化槽特別会計		0.00	0.05	0.03	0.10	0.04
後期高齢者医療特別会計		0.02	0.02	0.01	0.02	0.04
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		-	-	6.21	0.03	0.01

分析欄

連結実質赤字比率については、一般会計、水道事業会計及び各種特別会計において赤字額を計上したことはない。
 一般会計において平成25年度で比率が高いのは、東日本大震災関連事業によるもので、平成26年度以降はほぼ同様の数値で推移していくと見込まれる。
 各種特別会計においては、一般会計からの繰入れによって健全化を保っており、最終的に一般会計の財政を圧迫することになっている。
 宅地分譲事業特別会計においては、順調に土地売却が進んでおり、早期の完売に努める必要がある。
 今後、企業誘致や移住定住の促進等により新たな自主財源の確保と町税等の更なる徴収強化により歳入確保に努める。

※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。